



富山県

監 4 月 野 澤 陸 将 (総 中 部 方 面 隊) は 、
 口 ナ ウ イ ル ス 新 型 コ
 症 対 応 策 加 え 市 中 感 染
 策 対 応 策 加 え 市 中 感 染
 染 対 応 策 加 え 市 中 感 染
 支 援 活 動 支 援 活 動 支 援
 支 援 活 動 支 援 活 動 支 援
 輸 送 支 援 輸 送 支 援 輸 送 支 援
 輸 送 支 援 輸 送 支 援 輸 送 支 援
 し び 支 染 策 症 口 4 監
 た。輸 援 対 に に ナ 月 中 部
 送、生 の 加 対 ウ 以 野 方 面
 支 活 た え す る イ ル ス 澤 隊
 援 活 た え す る イ ル ス 澤 隊
 に 支 援 活 動 支 援 活 動 支 援
 従 事 及 育 感 対 染 コ

災害派遣

新型コロナウイルス感染症に対する
 水際対策強化及び市中感染対応に
 係る災害派遣等



方面総監統率方針
 任務完遂



石川県



鳥取県

4月から実施した災害派遣等一覧

都道府県名	活動期間	活動内容	派遣部隊
愛知県	4月3日(金)～5月31日(火)	輸送支援 生活支援	中部方面隊
大阪府			
石川県	4月17日(金)、4月24日(金) 及び6月17日(水)	教育支援	第10師団
	4月27日(月)～5月3日(日)	輸送支援 教育支援	
富山県	4月23日(木)～24日(金)及び 6月19日(金)	教育支援	
岐阜県	4月16日(木)～18日(土)、 5月14日(木)、5月20日(水)、 5月22日(金)及び6月11日(木)	教育支援	
三重県	4月30日(木)	教育支援	第3師団
滋賀県	4月28日(火)～5月3日(日)	輸送支援 教育支援	
大阪府	4月8日(水)、4月13日(月)、 4月16日(木)及び4月23日(木)	教育支援	第3師団及び 中部方面隊直轄部隊等
奈良県	4月22日(水)	教育支援	第3師団
兵庫県	4月13日(月)～19日(日)	生活支援 教育支援	第3師団 中部方面衛生隊
岡山県	4月10日(金)	教育支援	第13旅団
鳥取県	4月17日(金)、6月11日(木) 及び6月12日(金)	教育支援	
島根県	5月7日(木)	教育支援	
高知県	4月12日(日)～16日(木)	教育支援 生活支援	第14旅団
香川県	4月21日(火)～24日(金)	教育支援	

発行所
 〒664-0012
 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1
 電話…072(782)0001
 陸上自衛隊
 中部方面総監部広報室



中部方面隊
 公式HP
 QRコード

第3師団 訓練検閲

第3師団（師団長 梶原陸将）は、6月14日（日）から21日（日）までの間、第1次訓練検閲をあいば野演習場及び青野ヶ原演習場において実施した。

本訓練検閲は、第7普通科連隊（連隊長 小野田1佐）及び第3後方支援連隊（連隊長 三宅1佐）に対して、その練度を評価判定して進歩向上を促すために実施された。



車両巡察
第7普通科連隊
連隊本部



主戦闘地域の戦闘
第7普通科連隊
第2中隊



患者空輸
第3後方支援連隊
衛生隊



弾薬集積所の開設
第3後方支援連隊
第1普通科直接支援中隊



修了式（青野原駐屯地）

春に採用された自衛官候補生及び一般曹候補生は、約3か月間の厳しい前期教育を終え、それぞれの職種部隊へと配置された。

数々の訓練を乗り越えて仲間と苦楽を共にし、大きく成長した彼らは、職種（職域）ごとに専門的な後期教育を受け、9月中旬ごろから本格的な部隊勤務をすることとなる。

初心の志を育みつつ、努力を続ける彼らの活躍に期待したい。

新隊員教育



歩哨訓練



戦闘訓練

施設科練度維持訓練 前段



総合訓練（混合橋の架設）

第4施設団（団長 坂元陸将補）は、6月1日（月）から5日（金）の間、三重県津市の雲出川において令和2年度方面施設科練度維持訓練（前段）を担任・実施した。
この訓練には中部方面隊の各施設科部隊が参加し、渡河作業の機能別訓練及び総合訓練を実施して、その練度向上を図った。



機能別訓練（92式浮橋の進水）



機能別訓練（徒橋の架設）



隊員自主募集優秀部隊褒賞として第2級賞状を授与される第13旅団長

優秀自衛隊協力本部第1級賞状を授与される香川地方協力本部長

大臣表彰

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、方面総監の意図の徹底及び主要施策の説明を実施するとともに、総監部、地方協力本部及び各部隊間相互の意思疎通を図るため、6月22日（月）に地本協力本部長会議を実施した。併せて、大臣表彰等伝達が実施された。

優秀自衛隊協力本部	第1級賞状	香川地方協力本部
-----------	-------	----------

陸上幕僚長表彰

優秀自衛隊協力本部	第2級賞状	富山・福井・岐阜・三重・京都・岡山・広島協力地方本部
	陸幕長褒賞	大阪（援護業務）・滋賀（予備自衛官業務）地方協力本部
隊員自主募集優秀部隊褒賞	第2級賞状	第13旅団、第17普通科連隊 第13高射特科中隊、出雲駐屯地業務隊
優秀広報官表彰	第2級賞詞	杉原曹長（香川）、松岡3曹（富山）、岸本2曹（福井）、日比2曹（岐阜）、松本2曹（三重）、桑室2曹（岡山）、加藤曹長（広島）
	陸幕長褒賞	善入准尉（石川）、高橋曹長（愛知）、長谷川1曹（鳥取）、中村1曹（山口）

地方協力本部長会議

ふあみさぽ通信 (連載：第43回)

守山駐屯地業務隊

守山駐屯地業務隊は、愛知県西部及び岐阜県全域を担当地域として、関係部外団体(愛知県自衛隊家族会、岐阜県自衛隊家族会、愛知県自衛隊家族会、岐阜県隊友会)と連携した家族支援施策に取り組んでいます。

令和元年度は、愛知県自衛隊家族会及び岐阜県自衛隊家族会の協力のもと、家族会会員と支援要望隊員及びその家族との顔合わせを行うとともに、南海レスキュー訓練の場においては、電話連絡による安否確認訓練を行い、その要領を検証しました。

また、同年3月11日には「関係部外団体等による家族支援に対する協力」の施策推進のため、愛知県自衛隊家族会と守山駐屯地の間に「隊員家族の支援に対する協力に関する協定書」の締結を行い、家族支援態勢の充実を図るための大きな一歩を踏み出すことができました。

今後、着実に家族会及び隊友会との連携強化に努め、強固な家族支援態勢を構築し、隊員が後顧の憂いなく任務にまい進できる態勢を充実・発展させていく所存です。



愛知県家族会会長と守山駐屯地司令による協定書締結(2.3.11)



南海レスキュー01における安否確認訓練状況(写真：岐阜県家族会会長)

CSMの提言



第14高射特科隊
先任上級曹長
(松山駐屯地)
陸曹長
市山 昭洋

「少しの自己犠牲を」

皆さん、はじめまして。第14高射特科隊の先任上級曹長、市山曹長と申します。

令和2年度は、新型コロナウイルスで幕を開けました。色々な行事等がこのウィルスの影響で中止又は延期になってしまい、経済も落ち込み日本どこるか世界中に暗い影を落とされています。こんな時こそ、私からの提言は「少しの自己犠牲を」というものです。

誰だつて一人で出来る事には限りがあります。計算上では一人が100%の力を発揮して仕事をやるより、50人が20%の力で仕事をする方が10倍の仕事量をこなせるはずで、誰かが何かをしようとしている時に困っていたら、ちよつとだけ自分の時間を削って手伝ってあげる。身近な所では、走行中に急いでいる時でも、道路を渡りたそうなが人が居たら待つてあげる。トイレのトレットペーパーがなくなりそうだったら、次の人のために用意してあげる。そんな小さな事だけど、その一つ一つの積み重ねが大きな事を成すのに繋がるのではないかと自分は考えています。話は変わりますが、皆さんは、ドラゴンボールという漫画をご存じですか？この漫画は、孫悟空という主人公が頑張つて、頑張つて、努力や修行を重ね、敵を倒すという内容です。孫悟空は、かなり強い敵を倒す時に必殺技の「元気玉」を使います。どうやってこの技を繰り出すかという少しずつ分けてもらつて、それをぶつけて強い敵を倒すというものです。

自衛隊という組織は、多くの人間が一緒に働いて任務を達成する仕事です。普段から自分の恒常業務の他に、一人一人が一寸だけ自分の班、小隊、中隊、大隊等の誰かのために、自分の力や技能、経験を使つて一寸ずつ何かをしてあげれば、いつか大きな事を成し得るのではないかと思えます。仕事でもプライベートでも、自分の大切な時間を他の誰かのために使用する「少しの自己犠牲を」皆さん、如何でしょうか？

地本の子カラ

(連載第19回：愛媛地本)



愛媛地域協力本部
Web自衛隊説明会
QRコード

愛媛地方協力本部は、令和2年5月21日(木)よりWebによる自衛隊説明会を始めました。

今年2月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや個別訪問等が中止又は自粛となり、地本と募集対象者との接触の機会が限られてしまいました。その状況を打破するためにWebによる説明会を企画し、各種準備を始めて5ヶ所の地域事務所等での運用試験・ホームページでの告知を経て21日(木)受付開始となりました。

希望者がホームページより各地域事務所等にメールで申し込み、実施日時を調整し、スカイプを使用して説明会に参加します。申し込みは匿名でも可能であり、いつでも相談を受け付けていて希望者の要望にできるだけ応えられるようにしています。

隊員自主募集特別褒賞受賞者



氏名：河野 友彦
階級：2等陸曹
所属：第17普通科連隊
入隊者数：9名



氏名：安藤 幸治
階級：3等陸尉
所属：第10特科連隊
入隊者数：8名

隊員自主募集において、著しい功績が認められた2名の隊員に中部方面総監(野澤陸将)より特別褒賞が授与された。